

conducting: Walter Welte

Dresdner Philharmonie



美しい古都ドレスデンから伝統の響きが香る...  
ワルター・ウェーラー 指揮

# ドレスデン フィルハーモニー 管弦楽団

ウィーンの名匠と奏でる究極の名曲コンサート

美しい響きの

2大交響曲

## みなとみらいホールで聴く「未完成」「運命」

2000 7.2 (日) 午後2時開演 横浜みなとみらいホール 主催：朝日新聞社 テレビ朝日

ウェーバー：歌劇「オベロン」序曲

SY10,000 AY8,000 BY6,000 (残少) C売切れ(消費税込)

シューベルト：交響曲第7番(第8番)「未完成」

◎ご予約・お問い合わせ／神奈川県芸術協会 045-453-5080

ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」

◎前売所／チケットぴあ 03-5237-9990 CNプレイガイド 03-5802-9990  
みなとみらいホールチケットセンター045-682-2000 他主要プレイガイド

※未就学児童のご入場はお断りいたします。

◎東京公演／ご予約・お問い合わせ 03-3234-9999 チケットスペース

6.30(金) 7:00PM 東京オペラシティコンサートホール／「未完成」「ブラームス1番」他 / 7.1(土) 2:00PM サントリーホール / 「田園」「運命」

# Dresdner Philharmonie conducting Walter Weller

## ドレスデン フィルハーモニー 管弦楽団

ドイツ・オーストリア音楽の権威  
ウィーン出身の名匠ワルター・ウェラー



1939年、ウィーン生まれ。6歳から音楽を学び、ウィーン音楽院でヴァイオリンを学ぶ。

1956年、弱冠17歳でウィーン・フィルのメンバーとなり、さらに同年コンサート・マスターに就任する。同年、ウェラー弦楽四重奏団を結成。以後1971年までこの弦楽四重奏団は国際的な音楽祭やレコーディングなど幅広い活動を行う。当時の数多くの録音は今でも名盤としてCD化されファンの間で愛好されている。

同じくウィーン出身の名指揮者ヨーゼフ・クリップスの下で指揮を学び、1966年指揮者としてデビュー。

以降、ヨーロッパ各地で活躍。ウィーン・トーンクンストラ管弦楽団やロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・スコティッシュ管弦楽団そしてロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団などの首席指揮者を歴任。

スコットランドでは50ポンド紙幣にウェラーのイメージが印刷されるといふ名誉を受けている。

ドイツ・オーストリア系の指揮者として現在最も幅広く活躍している巨匠の一人である。

DRESDNER  
PHILHARMONIE

創立130年!  
充実のアンサンブルを聴かせる  
ドイツの名門  
ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団



1870年に創立され、既に130年の歴史を誇るドイツの名門オーケストラ。

1871年のベテルスブルグ客演をはじめ、ヨーロッパ各国、1909年のアメリカ客演など早くから国外公演を積極的に行ってきた。また1888年に、チャイコフスキーが自らの指揮で交響曲第4番を、そして89年にはトヴォルザークが交響曲第5番を演奏したのを始め、ブラームス、ハンス・フォン・ビューロー、R.シュトラウス、ラフマニノフなどとも共演している。

第二次世界大戦のため一時解散を余儀なくされたが戦後再編成された。クルト・マズア、ギュンター・ヘルビヒらが音楽監督に就任し安定した実力を誇るようになった。ヘルベルト・ケーゲルの時代には多くの録音を残し高い評価を得た。ドイツ民主化後はイヨルグ・ペーター・ヴァイグレそして1994年にはミッシェル・プラソンを首席指揮者に迎えている。

ドイツらしい味わいの中に、ドレスデン独特の柔らかい響きと、同じドレスデンのシュターツカペレとは異なる新鮮さと現代感覚を兼ね備えた演奏は、世界中で高い評価を得ている。